訪問して
ケアサポートえん
（ホームヘルパー派遣）

～家族介護教室を終えて～

平成 29 年度の家族介護教室は、昨年 11 月に『ふるさと新座館』で行われました。毎年えんが新座市からの委託を受け、 自宅で家族の介護をされている方々と今後されるだろう方々に向けて、車椅子の使用法や、衣類の着脱、排泄の手順等の基本をできるだけわかりやすく伝え、少しでも在宅介護の大変さを軽減してもらうことを目的とした教室です。

今回は 16 名の年齢も性別も様々な方々が参加されました。私は車椅子の操作方法のデモンストレーションを行うという大役を仰せつかったのですが、説明を始めた私の周りを囲む参加者の皆さんの熱心な眼差しを一身に受けガチガチに緊張してしまいました。専門用語を使わずにすべての皆さんにわかりやすく伝えることの難しさも痛感しました。教室終了後もスタッフに色々と質問されている方もいらっしゃり、在宅介護に対する前向きな熱心さとそれに伴う不安を抱えているご家族のお気持ちが感じられました。

つい最近、家族介護教室に参加された M さんにお逢いする機会がありました。お母様がえんの利用者で、私も以前ケアを担当したことがある方です。お母様の介護に不安を持っていたとのことですが、教室で講義を聞き、実践指導を受けて、「何とか親の介護ができるのでは」と前向きに考えることができるようになったと言ってくださったのです。表情が以前お会いしたときよりも晴れ晴れと明るく感じられました。

教室終了後のアンケートでは次のような感想をいただいています

- 実技も説明もとてもわかりやすかったです。
- おむつをつけたり、実際に体験できてよかった。
- 今まで自己流で大変でしたが、今回の講義で楽になりました。
- これからの介護について相談するところがあるとわかり、気持ちが楽になりました。
- 介護する側される側、いずれ来る事と思います。その時は皆様がやさしい態で接してくださったことを思い出し、対応していきたいと思います。

1 年に 1 回ではありますが、家族介護教室に参加される方々の不安を少しでも取り除くお手伝いをできるのであれば、うれしく思います。

（ケアサポートえん／西本恵理）